

民主島根

2020年
2.2
第1353号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

しまね総がかり集会 安倍9条改憲発議ストップ

輝け憲法！いかそう9条

こうけつ 額額が講演、市民・野党がトーク

しまね総がかり行動実行委員会は1月25日、松江市で集会を開きました。額額(こうけつ)厚・明治大学特認教授(元山口大学副学長)が講演。政党や市民団体、島根大学の大学生など6人がリレートークしました。

額額氏は「安倍政権は武力による安全保障しか言わない。軍事によって守られる安全保障は危険」と警鐘を鳴らし、「国民の命、生活、安全を危険にさらすのが安倍政権だ」と批判。中国、北朝鮮の脅威に対しては「平和憲法を守り生かし、アジア平和共同体の構築に尽力すべきだ」と強調しました。



講演する額額(こうけつ) 明治大学特認教授(松江市)

野党各党から熱い連帯メッセージが寄せられたと紹介し「立憲主義回復、格差解消、多様性の尊重を共同理念にすえて話し合えば、野党連合政権に向けた合意をつくることができ。安倍政権を倒し、新しい政治をつくらう」と呼びかけ。社民党県連合の芦原

尾村氏は「安倍政権に9条を変えさせてはならない」と述べ、みなさんと連帯してたたかっていると決意表明しました。

立憲民主党の亀井亜紀子衆院議員、国民民主党の森本秀歳県連代表から連帯のメッセージが寄せられました。

尾村氏は阪神・淡路大震災にふれ、「島根原発付近には39キロの宍道断層(活断層)が走り、いつ大地震が起こるかわからない」と指摘。「命と暮らしを守るためにも、原発ゼロの島根を」と訴え。田中氏は全国の商用原発で再稼働のための対策費・維持費が総額13兆円にも上っているとし、「原発に固執する安倍政治を変え、安全な再生可能エネルギーを推進する政治を子どもたちに手渡そう」と呼びかけました。



政党からのトークで訴える共産党・後藤県委員長(松江市)



新成人にエールを送る参加者

日本共産党と民青同盟は1月12日、松江市の成人式会場で宣伝しました。尾村利成県議、橘祥朗、吉儀敬子、田中肇の各市議、岩田剛東部地区委員長、民青の田辺洋副委員長らがお祝いの言葉を述べると、振り袖やスーツ姿の新成人から声援が寄せられました。

党と民青合同 若者の未来開く政治に 松江市成人式会場前で宣伝

尾村県議、橘市議は、民意に背き、9条改憲や原発稼働をすすめる安倍政治にふれ、「一人ひとりが主権者として行動に踏み出せば大きな力となる」と訴え、政治を動かすことができ「日本共産党はみなさんと力を合わせ、希望ある政治をつくるために力を尽くします」と決意を述べました。民青の田辺副委員長は「若者の未来をひらく政治を実現するために、一緒に声を上げよう」と呼びかけました。

現行の少人数学級制度を後退させない
子どもと教育を大切にする県民のつどい
2月2日(日) 14時~16時
松江市総合福祉センター 4F大ホール

- 各界からの意見表明・メッセージ紹介
- 集会アピール採択 など

鼓動 わが家の玄関の上り框に一匹のタヌキが鎮座している。信楽焼のタヌキである。編み笠を被り少し首を傾げ、徳利と通帳をもって白い腹を突き出し、愛くるしい目玉で来客を迎えてくれる。時たまやってくる孫のよき相棒でもある▼かつて滋賀県選出の国会議員の秘書をしていた頃に買ったものである。現地秘書の案内で信楽の里を訪れたことがあるが、大小無数のタヌキ(焼き物)の大歓迎を受けた。朝ドラ「スカレット」を見ていて、40年も前のことが昨日のことのようによみがえってくる▼ヒロイン喜美子は、1970年代に釉薬を用いない自然釉の信楽焼(古信楽)の復元に成功して女性陶芸家の草分けと注目された神山清子をモデルにしている。清子は、戦中に父親が朝鮮人労働者の脱走を手助けしたことから、子どもの頃から苛められた。しかし負けん気は強く、勉強もよく出来て中学では絵画で金賞を取り、絵付け師をめざして信楽の陶器会社に就職▼その後清子は、離婚など紆余曲折を経て陶芸に打ち込むことになったが、その苦難の生きざまはドรามをはるかにしのぐもの。しかし、清子が成功した「信楽自然釉」は一躍脚光を浴びた。灰かぶりによる自然降灰釉と炎が生み出す独特の焼き上がりは絶品である▼当時「今話題の信楽焼茶碗」と、現地秘書から頂いた一对のマグカップは長年、わが家のコーヒー茶碗として愛用された。使うほどに艶が出る名品だったが、いつの間にか欠けていた。清子の息子・賢一も陶芸家をめざしたが白血病で31歳で急逝。清子は骨髓バンク設立運動にも奔走した。